

第321号 平成30年8月10日発行

公益社団法人 三田市シルバー人材センター
〒669-1323

三田市あかしあ台5-32-2

TEL 564-7501

FAX 553-1300

Eメール sandasilver631015@sandasc.org

ホームページ <http://www.sandasc.org/>

外部組織、各種他団体との連携深める

市関連事業や、高齢者の就業に関する事業、更には介護保険に係る内容など、最近では、高齢者が関連する事業が多様化してきたということもあり、シルバー事業を行ううえで、外部組織や他団体との連携を必要とする取り組みが増えています。

今回は、そういった他団体との連携に関する取組みについて、ご紹介したいと思います。

○三田市いきいき高齢者支援課定例会

毎月行われる市役所担当課との定例会で、シルバーの現状報告と、課題や問題点の相談。更には他の部署に関連する事業の取り組み状況など、連携を密にして円滑な運営を目指しています。

○生涯現役ネットワーク会議

市いきいき高齢者支援課の取りまとめで、「生きがい応援プラザ」が核となり、「ハローワーク」「社協ボランティア活動センター」「商工会」「地域活動推進プラザ」「生活支援コーディネーター」が参画し、それぞれと情報交換から現状を知りつつ、高齢者の就活に関する取り組みを行っています。

○子育て支援ネットワーク会議

市が実施している子育て支援事業の、「駒ヶ谷運動公園子育て交流広場」に参画する運営団体で構成され、シルバーから現場目線の意見や提案を行い、活発な活動に貢献しています。

○介護・予防総合事業情報交換会

市内各地の介護コーディネーターが集まって情報交換を行う場ですが、シルバーでも日常生活支援総合事業に係っていることから、今回初参加となりました。

旧要支援対象者の現状や、コーディネーターへの相談の内容などを知ることで、今後の事業展開に向けて大いに参考になることとなりました。



その他にも、有馬高等学校の農業部長と、竹パウダーの今後の可能性について話し合ったり、三田まつり実行委員会への参加し普及啓発に努めるなど、多様な連携が行われています。

「三田まつり」理事奮闘！！

第40回目の「三田まつり」は、猛暑の影響で例年より2時間遅れの開会となりました。

今回も昨年同様、PR活動の一環で理事を募って、フランクフルト売りを行いました。

最初は猛暑により人出が減ると思っていたのですが、開店と同時に来店があり、その後、途切れる事の無い長蛇の列が続きました。

事前に各人の持ち場を決めていませんでしたが、自然と手分けして作業するようになり、見事な連携プレーで、大量のお客さんをさばっていました。

2枚の鉄板もフル回転で、常時60～70本を焼き続けていきます。

開始後2時間たらず。まだ明るいうちに、用意した600本のフランクフルトが売り切れてしまい、「分かっていたら、多めに仕入っていたのに・・・」と、後悔の声もありましたが、完売の満足感に浸りながら解散となりました。

理事の皆さん、暑い中お疲れ様でした。



Now編集委員会 始動

今年も、藍・本庄地域班の大木理事を編集長に、ウディータウンB地域班の富田さんとフラワータウン地域班の矢澤さんと担当職員で、Nowの編集委員会がスタートしました。

去年は、他市センターからお問い合わせを頂くなど注目されましたが、今まで通り気負うことなく、自然体で進んでいます。



現状、数ページの構成はまだ検討中ですが、世界情勢から夫婦間のことまで幅広い話をしながら、市民の皆様が読んで「クスッ」と笑ったり、「うんうん」と共感できるような誌面作りを目指しています。

予定では10月ごろに市広報誌と一緒に全戸配布されるので、自宅に届くのを楽しみに待ちたいと思います。

グリーンカーテンでクール・エコ

地球温暖化や省エネなどに関心が深まってきた2000年頃から、夏場の建物の周辺に植物を這わせて育てる「グリーンカーテン」という取り組みが、あちらこちらで見られるようになりました。

主に、朝顔、蔦、キュウリなどつる草類を植えることが多いようですが、当センターでは、今回初めての試みとして5月中旬より、役員室の西側の窓際にゴーヤの苗を育て、現在、小さいながらも実が生まれています。

窓際の日よけになる他、植物による蒸散効果で気温の上昇を抑えるなど効果があるようですが、どうしても実の生り具合が気になってしまう所です。



8月10日からの行事予定

8月10日(金) 入会説明会(13:30~)

11日(土) シルバーマルシェ(10:00~14:00)*

15日(水) 仕事の相談日(10:00~)

24日(金) 理事会(13:30~)

9月19日(水) 仕事の相談日(10:00~)

*三田駅前ペDESTリアンデッキにて

次回の配分金の支払いは

9月10日(月)です。

7月度	平成29年度実績	平成30年度速報
会員数(人)	1,066	1,114
受注(件)	1,125	1,118
金額(千円)	163,848	165,090

新入会員紹介(順不同・敬称略)

個人情報の為、お名前は伏せています。

防ごう！ 熱・中・症！！

「自分は大丈夫！」なんて、思っているのはダメです！
今まで経験したことのない、異常な暑さですよ！

- ・こまめな水分補給
- ・十分な睡眠
- ・そして何よりムリをしない！

みんなで助け合いながら、
この夏を乗り切りましょう~！

笑顔研究所
あなたが笑顔になる時は...

さかぐちなおみ

さかぐちみえ

阪口直美さん

阪口美枝さん

今回は元気がよくて、大変仲のいい姉妹をご紹介します。シルバーには多くの会員がいらっしゃいますが、姉妹で入会されている方はほんとに珍しいです。

お姉さんの直美さんは平成26年3月の入会です。以前、体調を崩したことがありましたが、元気に歩けるようになったので、仕事をしたいな、と思い、入会されたそうです。現在は子育てカンガルーに就業、また、味噌作り講師も務められています。



〈姉・直美さん〉



〈妹・美枝さん〉

妹の美枝さんはお姉さんからシルバーは楽しいよ、と勧められ、平成28年11月に入会されました。現在はお孫さんの面倒をみているので、就業は一時お休みとのこと。

旅行も大好きで、以前、娘さんが小豆島旅行をセットしてくれ、姉妹でお出かけされたとか。シルバーでのバス旅行にも、一緒に行ける日を楽しみにされています。

一方、タブレットを使い、毎日のように通信型パズルのディズニー・ツムツムゲームに参加して、お互いの成績を見たり、添えたメールの内容から日々の活躍を知ったり、お若い活動もされています。

笑顔になるのはどんな時でしょうか？とお聞きすると、お二人とも「家事をしながらいつも笑って過ごしています。つらいことや悲しいことがないとは申しませんが、楽しいこと、嬉しかったことを思いだして、いつも笑顔を絶やさないようにしています。」とのことでした。

感性が似通っておられるのか、テレビのお芝居を見て一緒に泣いてしまうこともあるそうです。インタビュー中も同じタイミングで笑ったり、手をたたいたりとしぐさもそっくりでした。

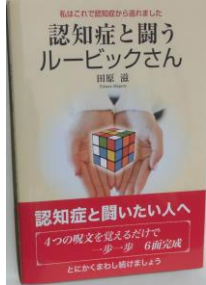
お二人にお話を伺っていると、こちらまでウキウキとした気持ちになってしまいます。快活で若々しい姉妹を前に、時間が経つのも忘れてしまいそうな楽しいインタビューでした。

(T・N記)



知ってトクする 知っ得 コーナー

ルービック・キューブは認知症を改善する



ルービック・キューブが再び脚光を浴びています。そもそもはハンガリーの建築学者 Rubik 博士が3次元幾何学を説明するために考案した模型でした。

日本では1980年に玩具として大ブームになりました。しかしながら、1981年に機動戦士ガンダムなる可動式プラモデルが出てくると、世の中はガンダム一色に染まったのです。ルービック・キューブの流れはあっけなく収束しました。約40年後に再び注目された理由は何なのでしょう？

意外なことに認知症を改善する効果があるとのこと。各面の色を合わせていく過程では大いに頭を使います。マージャンや囲碁・将棋も頭を使うので認知症を改善すると言われます。そういう観点からすると、納得できますね。このキューブの利点は、一人で手軽にかつ安価にできることです。

認知症との関連については本が出ています。「認知症と闘うルービックさん」(田原茂)この中で高齢者に合った解法が書かれています。一般には早く解く方法の指南本が出ていますが、高齢者向きではありません。

キューブは易しいのから複雑なものまで何種類もあります。玩具店、ネット通販等で数百円から購入できます。



認知症でない方が今から取り組めば、認知症になりにくいでしょう。今認知症かなと思われる方はキューブを回すと症状を改善できるでしょう。お試しください。

(H・Y記)

漢字 あら・かると

笑の字のなり立ち

「笑」の字は巫女(ワゴ)が両手をあげ、身をくねらせて舞い踊る形です。

「象形文字」のひとつです。

神に訴えようとするとき、神を楽しませようとする様子

子を「笑」と言い、「わらう、ほほえむ」の意味となります。ふりかざしている両手が竹冠の形に図形化されています。

その下の「天(ヨ)」は、人が頭を傾け、身をくねらせて舞う姿です。妖艶の「妖」にもこの形があります。

* 巫女(ワゴ)・・・神に仕えて、神のお告げを人に伝える女性のこと。みこ。

(T・N記)



気まぐれトーク

昔の夏ってこんなに暑かったかな、と若かった頃の記憶を掘り起こしてみました。日射病という言葉は当時よく耳にしたものの、部活(ちなみに陸上部でした)の合宿では炎天下で練習をしていましたし、こまめな水分補給などありませんでした。もっとさかのぼれば小学生の時は、夜、寝るときには寝冷えをしないようにと腹巻きをさせられていましたっけ。

この夏の酷暑は太平洋高気圧とチベット高気圧が重なって日本列島を覆っていることが原因だとか。連日「命の危険に関わるような暑さ」が続き悲しい被害も出ています。十分な注意と早めの熱中症対策が大事です。私の対処策は「不要な外出は避け

る」です！(^_^)v

シルバー人材センター役員室のゴーヤの緑のカーテンが涼しげで一服の清涼剤になっています。



(A・O記)